



平成25年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東京ドーム

コード番号 9681 URL <http://www.tokyo-dome.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久代 信次

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 小田切 吉隆

TEL 03-3811-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年12月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第3四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第3四半期	61,264	13.2	8,738	99.1	6,821	216.0	5,523	—
24年1月期第3四半期	54,140	△12.0	4,388	△41.7	2,158	△56.3	△1,814	—

(注) 包括利益 25年1月期第3四半期 6,139百万円 (—%) 24年1月期第3四半期 △3,355百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第3四半期	28.98	—
24年1月期第3四半期	△9.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年1月期第3四半期	298,465	58,592	19.6	307.26
24年1月期	297,848	52,427	17.6	275.10

(参考) 自己資本 25年1月期第3四半期 58,592百万円 24年1月期 52,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年1月期	—	0.00	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,200	6.8	8,600	63.8	5,900	152.6	4,500	—	23.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年1月期3Q	191,714,840 株	24年1月期	191,714,840 株
② 期末自己株式数	25年1月期3Q	1,019,397 株	24年1月期	1,140,639 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年1月期3Q	190,626,413 株	24年1月期3Q	190,508,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、連結業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	4
	(1) 重要な子会社の異動の概要	4
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
	(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
	(4) 追加情報	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) セグメント情報	10
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
	(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間において、昨年度は東日本大震災の影響やそれに伴う節電に起因するプロ野球やコンサートイベントの延期やキャンセルがありました。が、本年度は予定通り順調に開催されていることに加え、プロ野球のポストシーズンゲームも開催されたことにより、売上高は612億6千4百万円(前年同四半期比13.2%増)となりました。

以上の結果、営業利益は87億3千8百万円(前年同四半期比99.1%増)、経常利益は68億2千1百万円(前年同四半期比216.0%増)、四半期純利益は55億2千3百万円(前年同四半期比73億3千8百万円の増益)となりました。

セグメント(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)の業績は以下のとおりであります。

〈東京ドームシティ〉

(東京ドーム)

東京ドームは、プロ野球・コンサートイベントが順調に開催されたことに加え、プロ野球のポストシーズンゲームも開催されたことにより、大幅な増収となりました。

(東京ドームシティアトラクションズ)

東京ドームシティアトラクションズは、東京ドームシティアトラクションズの通期営業やバイキングゾーンのリニューアルオープン等があり増収となりました。

(東京ドームホテル)

東京ドームホテルは、昨年度の東京ドームシティ内のイベントの中止や延期、東日本大震災や福島第1原発事故の影響からは回復傾向にあり、外交問題の顕在化による中国人旅行客のキャンセルが相次いだものの増収となりました。

(ラクーア)

ラクーアは、東京ドームシティ内のイベントの順調な開催、東京ドームシティアトラクションズの通期営業などにより来場者が増加し増収となりました。

(ミーツポート)

ミーツポートは、イベントが順調に開催されており、増収となりました。

以上の結果、東京ドームシティ事業全体での売上高は451億2千7百万円(前年同四半期比18.7%増)、営業利益(セグメント利益)は111億9千4百万円(前年同四半期比61.5%増)となりました。

〈流通〉

ショッピングインは、昨年度の東日本大震災の影響による関東圏店舗の休業・営業時間短縮から通常営業に戻ったことや、新店舗のオープンなどがあったものの、競合店の出店や景気低迷の影響を受け伸び悩みました。

以上の結果、売上高は56億3千万円(前年同四半期比1.2%増)、営業損失(セグメント損失)は△3百万円(前年同四半期比3千2百万円の減益)となりました。

<不動産>

松戸公産㈱が、昨年度に取得した賃貸オフィスビル「代々木イースト」の通期稼動が売上に寄与したもののその他の賃貸商業施設におけるテナントの解約や賃料の減額等があり減収となりました。

以上の結果、売上高は11億6千8百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益（セグメント利益）は4億9千6百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

<熱海>

熱海後楽園ホテルは、東日本大震災の影響から稼動率が回復し、増収となりました。

以上の結果、売上高は31億8千3百万円（前年同四半期比24.1%増）、営業利益（セグメント利益）は1億2千万円（前年同四半期比4億2千7百万円の改善）となりました。

<札幌>

東京ドームホテル札幌は、東日本大震災の影響から回復傾向にありますが、小幅な回復にとどまりました。

以上の結果、売上高は20億7千9百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業損失（セグメント損失）は△1千1百万円（前年同四半期比8千8百万円の改善）となりました。

<競輪>

松戸競輪場は、昨年に比べ開催日数は増えたもののG1・G3レース等の開催日数は減少したため減収となり、昨年度は東日本大震災による営業休止期間中の固定費を特別損失に振替えていたことなどから、営業費用が増加いたしました。

以上の結果、売上高は17億3千2百万円（前年同四半期比16.5%減）、営業利益（セグメント利益）は1億3千万円（前年同四半期比75.9%減）となりました。

<その他>

その他事業全体での売上高は30億2千7百万円（前年同四半期比11.7%減）、営業利益（セグメント利益）は7千9百万円（前年同四半期比28.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、東京ドームシティの常設発電機の導入、東京ドームシティアトラクションズの新遊戯機械の取得や株価の上昇による投資有価証券の増加により2,984億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億1千6百万円の増加となっております。

なお負債は、社債の償還や長期借入金の返済を行い2,398億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ55億4千8百万円の減少となっております。

また純資産は、四半期純利益の計上により585億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ61億6千5百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月15日付「平成24年1月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,658	10,541
受取手形及び売掛金	2,773	3,781
有価証券	—	99
たな卸資産	1,195	1,389
繰延税金資産	2,665	1,827
その他	1,466	3,939
貸倒引当金	△7	△4
流動資産合計	18,752	21,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	214,780	213,807
減価償却累計額	△117,549	△119,980
建物及び構築物(純額)	97,231	93,826
機械装置及び運搬具	13,903	14,070
減価償却累計額	△10,663	△10,889
機械装置及び運搬具(純額)	3,240	3,181
土地	143,246	143,246
建設仮勘定	105	55
その他	18,313	19,300
減価償却累計額	△13,914	△14,518
その他(純額)	4,399	4,782
有形固定資産合計	248,223	245,092
無形固定資産		
借地権	425	425
ソフトウェア	247	236
その他	168	164
無形固定資産合計	842	827
投資その他の資産		
投資有価証券	16,873	18,092
長期貸付金	1,080	1,001
繰延税金資産	7,368	7,265
その他	3,319	3,270
貸倒引当金	△154	△152
投資その他の資産合計	28,487	29,478
固定資産合計	277,553	275,398
繰延資産		
社債発行費	1,543	1,493
繰延資産合計	1,543	1,493
資産合計	297,848	298,465

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	663	1,115
1年内償還予定の社債	25,096	28,080
短期借入金	35,790	32,676
未払法人税等	431	320
賞与引当金	360	745
ポイント引当金	101	126
商品券等引換引当金	10	8
災害損失引当金	79	—
その他	18,024	26,712
流動負債合計	80,558	89,786
固定負債		
社債	65,101	52,277
長期借入金	59,679	57,393
受入保証金	4,231	3,799
繰延税金負債	22	29
再評価に係る繰延税金負債	30,811	30,811
退職給付引当金	3,035	3,180
執行役員退職慰労引当金	95	98
その他	1,886	2,496
固定負債合計	164,862	150,086
負債合計	245,421	239,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	830	790
利益剰余金	379	5,903
自己株式	△485	△419
株主資本合計	2,762	8,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,043	△400
土地再評価差額金	50,872	50,872
為替換算調整勘定	△163	△192
その他の包括利益累計額合計	49,664	50,279
純資産合計	52,427	58,592
負債純資産合計	297,848	298,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
売上高	54,140	61,264
売上原価	45,242	48,150
売上総利益	8,898	13,114
一般管理費	4,510	4,375
営業利益	4,388	8,738
営業外収益		
受取利息	55	46
受取配当金	315	321
為替差益	—	22
持分法による投資利益	109	32
その他	81	103
営業外収益合計	563	527
営業外費用		
支払利息	2,010	1,788
為替差損	4	—
その他	778	656
営業外費用合計	2,792	2,445
経常利益	2,158	6,821
特別利益		
固定資産売却益	17	0
受取保険金	262	19
補助金収入	—	41
その他	16	12
特別利益合計	296	74
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	309	183
解体撤去費	248	90
投資有価証券評価損	217	—
事故に起因する営業補償等	440	—
災害による損失	691	—
その他	152	—
特別損失合計	2,059	275
税金等調整前四半期純利益	396	6,619
法人税、住民税及び事業税	383	409
法人税等調整額	1,827	686
法人税等合計	2,210	1,095
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,814	5,523
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,814	5,523

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,814	5,523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,544	644
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△29
その他の包括利益合計	△1,540	615
四半期包括利益	△3,355	6,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,355	6,139

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高 外部顧客への 売上高	37,391	5,565	1,165	2,563	1,988	2,071	50,745	3,395	54,140	—	54,140
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	625	—	3	0	24	4	658	31	690	△690	—
計	38,016	5,565	1,169	2,564	2,013	2,075	51,403	3,427	54,831	△690	54,140
セグメント利益 又は損失(△)	6,930	29	480	△307	△99	542	7,575	110	7,686	△3,298	4,388

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、㈱東京ドームスポーツによる横浜「スパイアス」の運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,298百万円には、セグメント間取引消去47百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△3,346百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高 外部顧客への 売上高	44,516	5,630	1,164	3,182	2,043	1,728	58,267	2,997	61,264	—	61,264
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	610	—	3	0	35	3	654	30	684	△684	—
計	45,127	5,630	1,168	3,183	2,079	1,732	58,921	3,027	61,948	△684	61,264
セグメント利益 又は損失(△)	11,194	△3	496	120	△11	130	11,927	79	12,006	△3,268	8,738

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、㈱東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,268百万円には、セグメント間取引消去46百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△3,314百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

平成23年12月19日開催の取締役会において、銀行保証付私募債について決議いたしました。この決議にもとづき、以下の発行を実施しております。

名称	第54回無担保社債 (株式会社みずほコーポレート銀行保証付及び適格機関投資家限定)
発行総額	5,000百万円
発行日	平成24年11月30日
発行価額	額面100円につき100円
利率	年1.440%
償還期限	平成29年11月30日
償還条件	平成25年11月30日より半年毎均等償還
資金使途	運転資金